

# パイン#7030

1. 系統 二液性ポリアミドアミン硬化型エポキシ樹脂系エナメル
2. 特徴 1) 耐薬品性・耐油性に優れる。  
2) 下塗との付着性に優れる。  
3) 塗装塗作業性に優れる。
3. 用途 1) 耐薬品性などが要求される屋内外の鉄鋼構造物塗装用上塗。  
2) 高湿度環境に設置される鉄鋼構造物塗装用上塗。  
3) 海岸等の腐食環境にある鉄鋼構造物塗装用上塗。

## 4. 塗料性状

項目	内 容					
容 姿	2液性					
荷 姿	16kg セット、4kg セット					
色 相	各色					
光 沢	つや有					
密 度 (23℃)	塗 料	1.27 (主剤・硬化剤混合物の標準)				
	揮発分	0.85				
加 熱 残 分	61wt%					
乾燥時間	温 度	5℃	10℃	20℃	30℃	
	指 触	3時間	2時間	1時間	30分	
	半硬化	24時間	16時間	8時間	6時間	
標 準 膜 厚	30μm					
引 火 点	SDS参照					
発 火 点	SDS参照					
爆発限界(下限~上限)	SDS参照					
貯蔵安定期間(20℃)	12ヶ月					

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 6. 施工上の注意

- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合で混合し、十分に攪拌し均一な状態で熟成し、再度攪拌して塗装する。混合後は硬化反応が進行するので、可使時間内に使いきる。
- 被塗面の油脂、湿気、じんあいなどの有害な付着物は完全に除去する。
- 希釈にはパイン#7000溶剤を使用し、規定した希釈率の範囲内で希釈する。
- 使用量、膜厚は標準的な目安を示すものであり、被塗物の形状、塗装方法などの条件により変動する。
- エアレススプレー塗装の場合は塗料を60~80メッシュの金網でろ過する。
- 塗装間隔が規定より長くなると、密着不良を起こすことがあるので、規定以上を経過した場合は、表面目荒し処理が必要です。
- 取扱い上の注意事項などの詳細説明は、別途「SDS」に記載していますので参照ください。

## 5. 塗装基準

項目	内 容					
下 地 処 理	-					
調 合 法	主剤：80部、硬化剤：20部（重量比）					
熟 成 時 間	約30分（20℃）					
可 使 時 間	5℃	10℃	20℃	30℃		
	48時間	36時間	24時間	12時間		
塗 装 方 法	エアレス塗装、刷毛塗り					
使用シンナー	パイン#7000溶剤					
塗 装 方 法	塗 装 方 法	エアレス塗装			刷毛塗り	
	希 釈 率	5~10wt%			0~5wt%	
	標 準 使 用 量	0.16kg/m <sup>2</sup>			0.12kg/m <sup>2</sup>	
	標 準 膜 厚	30μm			30μm	
ワット管理膜厚	75μm			75μm		
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa(4kg/cm <sup>2</sup> )以上					
	2次圧 12MPa(120kg/cm <sup>2</sup> )以上					
チップ No.163-515~715						
塗 装 間 隔	温 度	5℃	10℃	20℃	30℃	
	最 小	24時間	20時間	16時間	12時間	
	最 大	14日			7日	

## 7. 適合する塗料

下塗：パイン#7010、パイン#7020H

## 8. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危 険 物 表 示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有 機 溶 剤 区 分	第2種有機溶剤含有	第2種有機溶剤含有
有 害 物 質 表 示	キシレン、エチルベンゼン メチルイソブチルケトン	キシレン、エチルベンゼン イソプロピルアルコール
劇 物 表 示	-	-
エポキシ樹脂表示 硬化剤表示	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン

## 9. 使用上の注意 [警告]

- 引火性の液体である。
- 有機溶剤中毒の恐れがある。
- 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

中電工業株式会社 工事部（塗料担当）

〒734-0001 広島市南区出汐2丁目3番29号 Tel:082-255-2131 Fax:082-255-2251